



### JET プログラム経験者の活躍 ～ PC としてクレアで活躍中です！～

(一財)自治体国際化協会 JETプログラム事業部調整課

今回は、クレアに勤める JET プログラム（語学指導などを行う外国青年招致事業）経験者のプログラム・コーディネーター（PC）に、プログラムに参加した当時の思い出や、現在の業務などについてインタビューしました。

#### プロフィール



**Julia Okamoto**  
(岡本ジュリア)

元国際交流員（CIR）（滋賀県彦根市、三重県）

任用期間：2019年～2024年

出身国：ブラジル

所属：多文化共生課

#### Q：JET プログラム参加時の業務は何でしたか。

最初の3年間は彦根市の CIR として、外国人住民のサポートや子ども向けポルトガル語母語教室、国際交流イベントを担当しました。その後の2年間は三重県で CIR を務め、出前講座ややさしい日本語研修、姉妹都市交流などに携わりました。

#### Q：当時の印象に残っているエピソードはありますか。

出前講座では、子どもたちが自分のルーツに誇りを持つよう心がけていました。ある講座の後、担任の先生からこんなお手紙をいただきました。「うれしい



出前講座の様子

ことがありました。授業の後、外国につながる子が『父の母語を学びたい。そして、父の母国にいる祖父母とお話ができるようになりたい』と言ったそうです。ご家族がとても喜んでいました。」と書いてあったその手紙は

今も読み返すたびに胸が温かくなります。

#### Q：クレアでの主な業務は何ですか。

全国の自治体・地域国際化協会職員向けに、多文化共生をテーマとした研修の企画・運営を担当しています。

#### Q：クレアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。

各地で外国人コミュニティのために尽力されている人々と交流し、その姿勢や思いに触れられることにやりがいを感じています。

#### Q：今後の抱負をお願いします。

今後は大学院進学も視野に入れ、海外での経験を通して多様な価値観への理解を深めたいと考えています。そして将来は再び日本と関わり、その経験を生かして国際交流にさらに貢献できる人材になりたいです。

#### プロフィール



**Oliver Marshall**  
(オリバー・マーシャル)

元国際交流員（CIR）（島根県）

任用期間：2017年～2023年

出身国：カナダ

所属：研修・カウンセリング課

#### Q：JET プログラム参加時の業務は何でしたか。

島根県の CIR として、翻訳・通訳から外国の外交官対応、学校訪問、県民向けの出前講座、情報誌の執筆、カナダ料理教室～ラジオ番組出演まで多岐にわたる仕事をさせていただきました！

#### Q：印象に残っている当時のエピソードはありますか。

ありすぎて中々決められない！特に思い出になったのは、県民向けの出前講座の自己紹介でただカラオケが好きと言ったことをきっかけに、参加していた優しいおじさんに「うちの合唱団を見学しない？」と誘われ、行ってみたらなんと！100人混声合唱団の新メンバーとなり、2年間ゼロからコーラス練習を積みま



混声合唱団みずうみの 15 周年記念コンサートの様子

した。15 周年記念コンサートで巨大なパイプオルガンの前に立ち、500 人の観客に向けて歌ったことは一生忘れられません。

**Q：クリアでの主な業務は何ですか。**

来日直後オリエンテーションをはじめ、さまざまな JET プログラム参加者向けの研修を企画・運営しました。また、JET プログラムのホームページや出版物を更新することで、JET プログラム参加者の日本における新生活と仕事を充実できるように一般的にサポートしています。

**Q：クリアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。**

全国各地方から派遣された日本人職員と一緒に仕事ができるおかげで、日本各地のことを知ることができる楽しい職場です！

私と同じく元 JET プログラム参加者の同僚と一緒に JET プログラムの改善を目指しながら、JET プログラム参加者に少しでも「日本に来てよかった」とより思ってもらえることがやりがいです。

**Q：今後の抱負をお願いします。**

近年の世界情勢を踏まえて今こそ、スキルアップしながら世界を「つなぐ」役割を果たしたいと思っています。

**プロフィール**



**Grant Koyama**  
(小山グラント)

元外国語指導助手 (ALT) (千葉県大網白里市)

任用期間：2019 年～ 2023 年

出身国：米国

所属：調整課

**Q：JET プログラム参加時の業務は何でしたか。**

ALT として中学校で英語の授業を担当し、生徒数の多い学校で大きな裁量をもって授業計画や教材作成に取り組みました。また、GIGA スクール構想による

ICT を活用した英語授業の実践や、英語スピーチコンテストの指導、地域向け英会話教室などにも携わりました。

**Q：印象に残っている当時のエピソードはありますか。**

生徒たちが卒業するたびに一人一人からもらった寄せ書きやメッセージ集は、笑顔になったり胸が温かくなったりする大切な思い出です。今でも、私の心にも、自宅の棚にも大切に残しています。毎年の別れは寂しかったのですが、3 年生が成長し、新たな道へ進んでいく姿を見送れたことは、嬉しくもあり、誇りに思える大切な思い出です。



Chromebook を活用した英語授業の様子

**Q：クリアでの主な業務は何ですか。**

JET プログラムの運営に関わる調整業務を担当し、参加者の配置や公式ウェブサイトの管理・更新を行っています。また、業務の効率化や自動化を目的に、配置や情報管理に関する仕組みの見直し・改善に取り組んでおり、公式ウェブサイトのリニューアルでは主に担当者として企画から実施まで携わりました。

**Q：クリアで働くうえで感じるやりがいは何ですか。**

自分にとっても、多くの人にとっても大切な存在である JET プログラムに携われていることに、誇りと責任を感じています。業務改善を通して、自治体や参加者への対応により多くの時間を割けるようになり、意味のある業務に集中できていることにやりがいを感じています。

**Q：今後の抱負をお願いします。**

今後も東京を拠点に、クリアでの経験を生かしながら、さまざまな組織において業務やシステムの改善に関わっていきたくと考えています。「人のありのままに寄り添う」という考えを大切に、使う人の立場に立った技術や仕組みを通して、より良い連携や働き方を実現し、引き続き社会に貢献していきたくです。